

報道関係者 各位



令和5年11月14日

【照会先】

秋田労働局労働基準部 健康安全課
課長 北林 浩之
産業安全専門官 山谷 博樹
(電話) 018 - 862 - 6683



プラスセーフ
秋田県介護施設 + Safe協議会の開催について
～介護職員の幸せのための安全アクション～



秋田労働局（局長 山本博之）は、労働災害（休業4日以上死傷者数）が増加している介護施設を対象として、県内の関係機関や法人本部のある施設等の協力を得て、「秋田県介護施設+Safe協議会」を11月21日に開催いたします。

この協議会は、労働災害の中でも発生割合の高い転倒及び腰痛等の作業行動に起因した労働災害を確実に減少させるため、安全衛生に対する意識啓発と自主的な安全衛生活動の定着を図り、参画企業が秋田県のリーディングカンパニーとなって、労働災害防止に向けた機運醸成を推進し、安全に安心して働ける魅力ある介護施設を目指すことを目的としています。

今年度、この協議会では、少林寺拳法の理法と技法を応用した「つかまない」「持ち上げない」介助方法について少林寺拳法介護マイスターによる講演を予定しており、介護者にも介護を受ける方にも負担のかからない介護技術を広く周知・普及し、介護施設における腰痛等の労働災害の減少に寄与することとしています。

秋田県介護施設 + Safe 協議会のご案内

- 1 日時 令和5年11月21日（火） 午前10時から正午まで
- 2 場所 秋田第二合同庁舎 1階 第一会議室（実演等 3階 第二会議室）
（秋田市山王7-1-4）
- 3 議題 介護施設における労働災害発生状況
少林寺拳法の技法を活かした介護技術（講演）
その他
- 4 資料 労働災害発生状況（資料1）
SAFE コンソーシアム（資料2）

報道機関の皆様には、労働災害防止及び林業現場の安全意識の高揚に向けた行政及び事業者団体等の取組について、関係者をはじめ県民に広く浸透するよう、取材・報道をお願いします。

【取材の申込みについて】

取材を希望される方は、前日までに秋田労働局健康安全課（018 - 862 - 6683）担当 産業安全専門官 山谷あてご連絡ください。

また、当日は、協議会開始時間前までにお越し下さい。

令和4年労働災害発生状況 (確定値)

秋田労働局
(令和5年4月10日作成)

号別 業種別	年別		令和2年 (確定値)		令和3年 (確定値)		令和3年 月～確定値		令和4年 月～確定値		前年増減		秋田署		能代署		大館署		横手署		大曲署		本荘署									
	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	件 数	百分率 (%)	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上	死	休業4 日以上						
																											亡	亡	亡	亡	亡	亡
1-17 全業種合計	7	1087	7	1220	7	1220	14	3117	1,897	155.5	489	4	1022	3	80	1	341	1	218	3	430	1	170	3	386	1	160	3	351	1	103	587
うち新型コロナを除く	7	1087	7	1120	7	1120	14	1155	35	3.1	412	4	412	3	80	1	102	1	212	3	212	1	167	3	163	1	146	3	153	1	103	113
うち新型コロナによる				100		100		1962	1,862	1862.0	77		610				239		6		218		3		223		14		198			474
1 製造業	1	191	2	218	2	218	2	321	103	47.2	76		82	1	18	1	34		40		58		32	1	88		29		35	1	23	24
食料品製造業	1	52		57		57	1	85	28	49.1	20		43		4		11		10		13		10	1	10		10		7		3	1
木材・木製品製造業		39	1	43	1	43		30	-13	-30.2	14		3	1	4		3		11		12		5		5		7		4		2	3
鉄鋼・非鉄・金属製品製造業		30		37		37		32	-5	-13.5	18		8		3		4		5		4		2		2		2		6		7	8
一般・輸送用機械器具製造業		14		20		20		38	18	90.0	4		4		1		8		7		8		5		13		2		2		1	3
電気機械器具製造業		7		14		14		23	9	64.3	3		3		1							4		15				1		6	4	
上記以外の製造業		49	1	47	1	47	1	113	66	140.4	17		21		5	1	8		7		21		6		43		8		15	1	4	5
2 鉱業(鉱安法適用を除く)		2		3		3			-3	-100.0	1								1								1					
3 建設業	2	200	4	227	4	227	8	304	77	33.9	71	3	78	2	11		19		56	2	55	1	39	1	45	1	31	2	60		19	47
土木工事業	1	78		73		73	3	119	46	63.0	27	1	21		3		4		20	1	20		12		22		3	1	31		8	21
建築工事業		101	3	123	3	123	3	117	-6	-4.9	26	1	29	1	4		6		31	1	32	1	25		16	1	27	1	25		10	9
鉄骨・鉄筋家屋建築		16		18		18		12	-6	-33.3	3		2						6		6		4		1		2		2		3	1
木造家屋建築		63	3	77	3	77	3	78	1	1.3	13	1	17	1	2		3		22	1	20	1	16		12	1	19	1	19		5	7
その他の建設業	1	21	1	31	1	31	2	68	37	119.4	18	1	28	1	4		9		5		3		2	1	7		1		4		1	17
4 運輸交通業	1	94		113		113		132	19	16.8	65		51		5		11		12		14		19		28		7		18		5	10
道路貨物運送業		84		95		95		97	2	2.1	50		44		5		10		11		12		17		9		7		12		5	10
5 貨物取扱業		1		1		1		2	1	100.0	1		1				1															
6-2 林業	3	39	1	37	1	37	2	32	-5	-13.5	2		2		2		4	1	10	1	8		7	1	8		7		4		9	6
8 商業		196		192		192	1	256	64	33.3	84	1	106		18		30		24		38		21		30		24		25		21	27
小売業		173		161		161	1	204	43	26.7	66	1	80		13		29		20		23		17		23		24		23		21	26
13 保健衛生業		144		214		214		1801	1,587	741.6	104		557		15		224		34		226		25		162		23		178		13	454
社会福祉施設		109		154		154		1052	898	583.1	66		334		13		45		29		155		17		130		18		128		11	260
14 接客娯楽業		60		52		52		63	11	21.2	22		32		1		7		10		6		8		8		9		6		2	4
飲食店		20		26		26		32	6	23.1	15		20				4		3		1		4		1		2		3		2	3
15 清掃・と畜業		51		32		32	1	35	3	9.4	18		19				3		10		6		2		2			1	4		2	1
上記以外の事業 6-1,7,9-12,16,17		109		131		131		171	40	30.5	45		94				8		21		19		17		15		29		21		9	14

労働者死傷病報告(休業4日以上)を集計したもの。死亡は内数。

令和4年 事故の型別・業種別発生状況 (確定値)

秋田労働局
(令和5年4月10日作成)

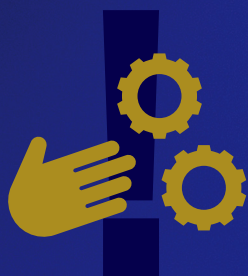
業種	事故の型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	90	99	合計	90 新型コロナウイルス (その他の内数)	
		墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能			
製造業		27	53	8	14	4	8	34 (1)	35			2	1				1	1 (1)		21	112		321 (2)	107	
製造業	食料品製造業	6	17	2	1		3	10 (1)	12											7	27		85 (1)	24	
	木材・木製品・家具・装備品製造業	3	3	1	1	1	1	7	11											2			30		
	鉄鋼・非鉄・金属製品製造業	4	3	2	6	1		4	3				1							2	6		32	6	
	一般・輸送用機械器具製造業	3	4	2	2	1	1	5	3												1	16		38	16
	電気機械器具製造業	1	3				1	1										1			3	13		23	12
	その他の製造業	10	23	1	4	1	2	7	6				2						1 (1)		6	50		113 (1)	49
鉱業(鉱安法適用除く)																									
建設業		75 (3)	26	15	18	8	13	28 (1)	19	2		1 (1)	1					10 (2)	1 (1)	8	79		304 (8)	79	
建設業	土木工事業	19	8	5	8	5	8	11	4			1 (1)						4 (1)	1 (1)	4	41		119 (3)	41	
	建築工事業		44 (3)	13	9	7	1	4	10	13	2		1						3		2	8		117 (3)	8
		鉄骨・鉄筋家屋建築	2	4					5	1														12	
	木造家屋建築	36 (3)	4	5	7	1	4	3	11	2								2		1	2		78 (3)	2	
その他の建設業	12	5	1	3	2	1	7 (1)	2										3 (1)		2	30		68 (2)	30	
運輸交通業		26	29	2		2	9	19	2	1		1						4		14	23		132	22	
運輸交通業	道路貨物運送業	26	22	1		2	7	18	2	1								3		12	3		97	3	
貨物取扱業		1						1															2		
林業		3	4	3	5 (1)	2	7 (1)		6									1		1			32 (2)		
商業		22	106	5	5		7	9	12			4	1					10 (1)		25	50		256 (1)	49	
商業	小売業	14	93	3	3		6	7	11			3	1					8 (1)		21	34		204 (1)	33	
保健衛生業		14	77	5	3		2	2	3									4		45	1646		1801	1631	
保健衛生業	社会福祉施設	12	57	3	2		2	1	2									4		41	928		1052	914	
接客娯楽業		12	31	1				1	1			4						2		5	6		63	6	
接客娯楽業	飲食店	8	11	1				1	1			3						2		1	4		32	4	
清掃・と畜業		10 (1)	12	2	1		3	2	1									2		2			35 (1)		
上記以外の事業		17	35	5			5	8	4									15		11	71		171	68	
合計		207 (4)	373	46	46 (1)	16	54 (1)	104 (2)	83	3		12 (1)	3				1	49 (4)	1 (1)	132	1987		3117 (14)	1962	

(注) 労働者死傷病報告(休業4日以上)を集計したもの。()は死亡内数。

みんなの安全を、みんなで守り合う。

SAFE コンソーシアム

AWARDS 2023 年度



安全な職場づくり部門



企業等間連携部門



転倒災害防止部門



腰痛予防部門



エイジフレンドリー部門

労働災害防止に向けた取組を実施している企業・団体に取組内容を応募いただき、優れた取組を部門別に表彰いたします。



応募期間：令和5年 9月—→11月 (予定)

結果発表：令和6年2月 (予定)

【コンソーシアムについて】全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFE コンソーシアム」を設立しました。

SAFEコンソーシアムポータルサイト  



従業員の幸せのための安全アクション「SAFE」のロゴマークで、安全のシンボルマークである緑十字をモチーフとしたものです。

SAFEコンソーシアム

AWARDS 2023年度

SAFEアワードについて

労働災害防止等に向けた取組を実施している企業・団体の皆様から、その取組内容を応募いただき、一般投票等を行い、部門別に表彰するものです。表彰された取組についてはSAFEコンソーシアムポータルサイトへの掲載及び受賞ロゴを付与させていただきます。また、受賞者には表彰状・盾をお送りいたします。※複数部門に応募可能です。



転倒災害防止 部門賞	腰痛予防 部門賞	安全な職場づくり 部門賞	エイジフレンドリー 部門賞	企業等間連携 部門賞
転倒災害防止に向けて実施しているソフト(体操等)、ハード(段差の解消等)の取組に関するもの	腰痛予防に向けて実施している取組に関するもの	転倒災害防止、腰痛予防以外について実施している取組や、それ以外にも活用できる取組に関するもの	特に高齢労働者の労働災害防止に向けて実施している取組に関するもの (転倒災害防止、腰痛予防に関する取組を含む)	企業間や自治体等と連携し、労働災害防止に向けて実施している取組に関するもの (転倒災害防止、腰痛予防に関する取組を含む)

コンソーシアム設立の背景・目的

労働災害のない安全で安心して働ける職場の実現は、いうまでもなく全ての人の願いです。しかし今、産業構造の変化や働き方の多様化に伴って、転倒や腰痛などの労働者個人の身体機能が大きく影響するリスクや、顧客・発注者、調達先等との関係で改善が難しい業務、柔軟な働き方が進んだ結果としての統一的な教育研修機会の減少など、職場単独では対応が難しい新たな課題が増えてきています。SAFEコンソーシアムは、このような課題の解決を進めるため、「Safer Action For Employees (SAFE)」を旗印に、社会全体として安全で安心して働ける職場づくりのプライオリティを上げ、加盟者が互いの知恵を共有しながら取組を進めていこうとするものです。

加盟メリット

- ロゴマークの掲示や「SAFEアワード」による労働安全衛生への取組のPR
- 加盟メンバー間での取組事例の共有や適切なサービスの利用による企業等内での労働安全衛生水準の向上、労働災害損失の減少
- 加盟メンバー間の労働災害防止・健康増進事業やサービスのマッチング

取組

- 1 加盟メンバーの地位向上
(ロゴマークの利用、コンソーシアムの活動の発信)
- 2 優良事例の表彰、コンソーシアム内外への発信(SAFEアワード)
- 3 好取組事例や労働災害防止対策サービスの共有、コンソーシアム事務局主催イベント等によるマッチングによる新たな取組の創出
- 4 安全で安心して働ける職場の実現に向けた協議・周知啓発
(シンポジウム)

SAFEコンソーシアムポータルサイト <https://safeconsortium.mhlw.go.jp/>



加盟はこちらから <https://safeconsortium.mhlw.go.jp/sc/consortium>



SAFEコンソーシアム X@safe_mhlw https://twitter.com/safe_mhlw

